

整理番号	34002
評価対象年度	令和3年度
編成区分	6月補正

事務事業評価(事前)シート

提出日	令和3年5月12日
事業担当課	公共交通対策室

《基本情報》

事務事業名	公共交通確保支援金	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大
基本施策	E7 道路・交通の円滑化を図ります	
基本施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図
	市民が	道路や公共交通機関を安全で快適に利用している。
個別施策	E7-2 公共交通の利便性や安全性の向上を図ります	
個別施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図
	市民が	充実された公共交通機関を利用している。

《事業の目的及び現在の取組み概要等》

現状・問題点	新型コロナウイルス感染症による利用者の急減により、公共交通事業者の収入は大幅に減少し、回復の見通しも立たない状況となっている。 すでに路線バスについては減便や廃止、路面電車についても減便、タクシーにおいても休車といった動きが進み、このままでは市民の移動を支える社会インフラとしての機能が十分に発揮できなくなる可能性がある。
目標(誰(何)をどのような状態にしたいのか)	公共交通は市民生活を支える社会インフラとして重要な役割を担っていることから、引き続き公共交通の運行は確保されなければならない。
課題(どういうことをする必要があるのでか)	利用者サービスを継続するためには相当の運賃収入が確保される必要があるが、利用者の早期回復は見込めないことから、運行を継続するための費用の一部を支援する必要がある。
上記の問題点に対して現在行っている事業の有無	有・ 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)
当該新規・拡大事業を行うにあたり、縮小・統合・廃止する事業	有・ 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等) 新規・拡大事業を行うためには、今までやってきた取組みを検証し、成果や効果が低い事務事業の終了も含めた「選択と集中」に努めることが不可欠です。

《事業の概要》

事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業期間、総事業費、事業費内訳等記載)	市民の移動需要を継続して支えられるよう、交通事業者の運行経費の一部を支援するもの。 【対 象】長崎市内に本社を有する乗合バス、路面電車及びタクシー事業者 【総事業費】235,324千円(振込手数料4千円含む) 【支援額内訳】路線バス(民間) 200千円/台 ⇒ 106,600千円 路線バス(公営) 200千円/台 ⇒ 35,800千円 路面電車 700千円/台 ⇒ 54,400千円 タクシー 30千円/台 ⇒ 38,250千円 【申請期間】令和3年度の2カ月程度
業務量の増減	62時間の増

市民等の参画と協働のまちづくり (取組みに☑をし、その内容を記載)		<input checked="" type="checkbox"/> 情報共有 <input type="checkbox"/> 参画 <input type="checkbox"/> 協働					
		支援の内容や申請方法等を事業者に説明する機会を設ける。					
事業期間		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 単年度繰り返し <input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～ 年度)					
予算額		金額(千円)	国	県	地方債	その他	一般財源
	当年度	235,324	235,324				
	総額	235,324	235,324				
	財源名称	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金					
成果(活動)指標	指標(単位)	市民1人当たりの路面電車と路線バスの年間利用回数					
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標値	111.7	111.7				
	成果指標及び目標値の説明	公共交通の利用者サービスが確保されれば、市民の公共交通利用は一定維持されるものと考えられることから、市民1人当たりの年間利用回数が維持されることを目標値とした。					

評価結果

(1)今後の事業の方向性と理由	
<input checked="" type="checkbox"/> 採択	<input checked="" type="checkbox"/> 所管案のとおり <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 事業規模拡大 <input type="checkbox"/> 事業規模縮小 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
<input type="checkbox"/> 一部不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
(2) 評価会議における指摘事項	
<p>人口減少による自然減に加え、新型コロナウイルス感染症による利用者の急減により、公共交通事業者の収入は大幅に減少し、減便や路線廃止といった動きが進んでいる。公共交通は社会インフラとしての重要な役割を担っており、引き続き運行を確保するため、交通事業者の運行経費の一部を支援するものである。</p> <p>運行経費を支援することで、市民生活の足としての運行の確保につながることから、事業の実施は適当である。ただし、事業実施に対する意見は次のとおり。</p>	
<p>【事業実施に対する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県にも更なる支援を積極的に要望していく必要がある。 ・あくまでもコロナ禍での特例的な支援であると線引きしておく必要がある。 ・コロナの影響による減少を明確に示すこと。 ・支援金の申請要件については、市税等の滞納をしていないことも条件となるのではないか。 	